



野口 昌作 議員

社協の補助金復活を

町長

内部留保額が減れば復活する



地域密着型に変わる

【野口昌】 社会福祉協議会が福祉センターなから地域密着型に事業転換すると聞いた。早期の認知症予防対策は、高齢化が進む現在、非常に重要な施策だ。町に相談があったと思うが、町は再考しないか。

【町長】 夏ごろ、社会福祉協議会から地域密着型に事業転換したいとの相談があった。町は地域密着型サービスの運営に関する委員会の意見を踏まえ事業指定した。社協の安定的な経営につなげたことの方針を尊重した。

【野口昌】 社協は町補助金が打ち切られ赤字経営である。経営不安が転換につながったと思う。補助金を復活すべきだ。

【町長】 県内で飛びぬけて多い内部留保があることから補助金を停止した。国の示す留保額に近づけば復活する。

農林水産業の振興は

町長

関係機関と連携して行う

【野口昌】 農家、集落、農村地域の悩み・問題は町の課題である。

【町長】 農家、集落、農村地域の悩み・問題は町の課題である。森林環境譲与税の具

体的活用方針は、森林を育てた所有者への対応は。

【野口昌】 農家、集落、農村地域の悩み・問題は町の課題である。

【町長】 森林所有者自らが経営管理できない場合に、町が管理の委託を受けるもので所有者に交付するものではない。

ランの実質化に町内120集落の何%が取り組んでいるか。

【野口昌】 不耕作で荒れた農地の有効活用は。

【町長】 26%が取り組む予定である。

【野口昌】 農業経営収入保険に助成している町もある。助成が必要

【野口昌】 集落営農の取り組みに対する対策は。

【町長】 関係機関と連携して行う。

【野口昌】 サザエ・アワビ・カキの放流は必要だが計画は。

【町長】 集落などの話し合いで解決することが重要である。

【野口昌】 人・農地プ

【町長】 漁協などの要望どおり放流に支援する。



農地を守る政策を